

2020（令和2）年度

事業報告書  
〔概要版〕



神戸商工会議所  
The Kobe Chamber of Commerce and Industry



# 総括的概要

2020（令和2）年度のわが国経済は、同年1月より猛威を振るった新型コロナウイルス感染症の拡大に端を発する数度の緊急事態宣言により、経済活動が大きく制限され、広範囲な分野で需要が激減する未曾有の事態に直面した。

政府によるキャンペーン等の施策が功を奏し、一時的な回復傾向が見られたものの、再びの感染拡大に企業収益の悪化や雇用維持への不安が増幅されたことで、国民の消費マインドも冷え込み、今年度の国内総生産は2008（平成20）年のリーマン・ショックを超え、戦後最大の落ち込みを記録した。

神戸においては、ウォーターフロントや都心の再整備が進捗し、スタートアップ・エコシステムの「グローバル拠点都市」に選定されるなど、新たなステージに向かって力強い歩みが見られた。

一方、神戸まつり、神戸ルミナリエをはじめとする主要観光イベントの中止や商業施設・飲食店の営業時間短縮により街の賑わいが失われ、中でも観光・集客関連企業は、阪神・淡路大震災以来の苦境に晒された。

こうした状況の中、神戸商工会議所では、家次会頭を本部長とした「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、事業継続や感染拡大防止策の強化、ニューノーマル対応への支援、さらにポストコロナを見据えた地域経済再生への取り組みを軸に、各種事業を展開した。

とりわけ、経営支援の最前線である各支部を中心に、20,000件以上の相談に応じるとともに、国・自治体による事業者向け支援策の利用支援を行った。

また、需要減退に悩む会員事業所の商品・サービス情報を広く発信するため、動画サイトを開設し、自社PRや販路開拓の取り組みを支援した。

加えて、オンラインまたはハイブリッド形式による商談会・ビジネスマッチングやバーチャルイベントの開催など、ニューノーマルに向けた新たな手法を取り入れ、事業を展開した。

さらに、三宮都心部の再整備や関西高速道路ネットワーク等主要インフラの整備推進、機能強化を国・自治体に求めるとともに、今後の神戸空港国際化を睨み、空港機能の強化やアクセス改善への取り組みを関係団体とともに進めた。

こうした取り組みや事業が事業者にも評価され、今年度末時点の会員数は前年度末比172会員増の11,163会員となり、2年ぶりに11,000会員を超えた。

今年度の主な事業活動は、以下の各項目に掲げる通りである。

# I. 新型コロナウイルス感染症への対応

## 1. 新型コロナウイルス感染症対策本部の対応

2020年1月以降、国内外において新型コロナウイルス感染症が広がり、経済活動が長期的にわたり停滞する事態となった。4月の緊急事態宣言の発令により企業経営への影響が一層深刻さを増す中、「新型コロナウイルス感染症対策本部」を中心に、会員事業所の事業継続・雇用維持のサポートを最優先に掲げ、資金繰り支援や各給付金・補助金等の相談対応を強化するとともに、緊急調査による実態把握をもとに、国や自治体への意見要望活動を行った。

また、感染症拡大防止のため、会合・検定試験等の延期・中止措置を取ったほか、一部事業の実施にはオンラインまたはハイブリッド形式を導入。併せて、事務局における交代勤務制、時差出勤制を導入し、基幹業務の維持継続に努めた。

## 2. 特別相談窓口等を通じた会員企業の事業継続支援



各支部による窓口相談（4月）

市内3支部に「新型コロナウイルスに関する経営相談窓口」（特別相談窓口）を設置したほか、中小企業診断士等の専門家を配置し、各種給付金・補助金等への相談体制の強化を図った。

また、コロナ禍における多様かつ緊急的な相談に対応するため、経営指導員による電話・窓口相談や巡回指導、専門家派遣など、経営相談・指導を延べ20,906回にわたり行った。

当商工会議所の推薦に基づき日本政策金融公庫が融資を実行する「小規模事業者経営改善資金（マル経融資）」は、推薦件数213件、推薦金額12億6,399万円と前年度を下回ったが、一方で、国・県・市の制度融資はコロナ対応型融資制度の拡充等もあり、斡旋件数は前年度比178.6%の468件、同金額は前年度比198.1%の58億1,648万円と大幅に増加した。

## 3. 緊急調査及び意見要望活動

感染拡大による経営への影響や現状での対応、国や自治体に対する要望等を把握するため、「緊急調査」を計3回実施し、その結果を基に、当商工会議所より、また日本商工会議所、兵庫県商工会議所連合会を通じて国や県、市に対し、事業継続・雇用維持に向けた支援、感染拡大防止と経済活動の両立に向けた意見具申や要望活動を行った。



兵庫県知事と意見交換（5月）

#### 4. 緊急応援事業



「新型コロナに負けない!緊急販売プロジェクト」ホームページ

会員事業所における過剰在庫の解消や仕事確保を目的に、「新型コロナに負けない!“緊急”販売プロジェクト」として、特設サイトを設け、商品情報を発信したほか、コロナ禍で不足するマスク・消毒液などの商材に関する売買の橋渡しをすべく、「新型コロナ関連商材『売りたい』『買いたい』マッチングサイト」を開設した。

また、深刻な影響を受ける飲食店を支援するため、オンライン上で前払いサービスを行う「飲食・サービス店 未来チケット応援プロジェクト」など、幅広い業種・業態への支援を行った。

##### 【主な事業内容】

- ① 新型コロナウイルス感染症対策本部の設置（令和2年3月/本部長：家次会頭）
- ② 新型コロナウイルスに関する経営相談窓口の設置（令和2年2月/3支部）  
相談内容(巡回相談 8,738件/窓口相談 11,115件/専門家派遣指導 119件/総合専門相談室 934件)
- ③ 専門家配置による経営相談体制の強化（7月～令和3年1月/相談 620件）
- ④ 小規模事業経営改善資金（マル経融資）の推薦（213社/12億6,399万円）
- ⑤ 各種制度融資の斡旋（268件/58億1,648万円）
- ⑥ 補助金・助成金等の申請支援（相談対応・申請サポート 1,637件、事前確認 113件）
- ⑦ 緊急調査
  - ・新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する緊急調査（4月、5月）
  - ・コロナ禍における海外サプライチェーン分断による影響と海外展開に関する調査（令和3年3月）
- ⑧ 意見・要望活動
  - ・兵庫県との意見交換会（5月：兵庫県商工会議所連合会）
  - ・神戸市との意見交換会（5月）
  - ・西村経済財政政策担当大臣との意見交換会（6月：日本商工会議所/7月：県内経済団体）
  - ・金澤兵庫副知事（県新型コロナウイルス感染症対策本部事務総長兼副本部長）との意見交換会（8月）
  - ・令和3年度神戸市政に対する要望（10月）

- ・令和3年度兵庫県政に対する要望（10月：兵庫県商工会議所連合会）
- ・神戸市・神戸商工会議所 懇談会（令和3年3月）
- ・兵庫県・兵庫県議会・兵庫県商工会議所連合会 懇談会（令和3年3月）

#### ⑧ 緊急応援事業

- ・新型コロナに負けない！“緊急”販売プロジェクト（令和2年3月～12月/  
サイト掲載数138件）
- ・飲食・サービス店 未来チケット応援プロジェクト（5月～/登録56店舗）
- ・新型コロナ関連商材「売りたい」「買いたい」マッチングサイトの開設（5月/  
掲載数41事業所/商談希望17件）

## Ⅱ. ニューノーマルに対応した感染拡大予防と経済活動の両立に向けた支援

### 1. デジタルテクノロジーの活用支援

「ニューノーマル（＝新しい生活様式）」が実践され、ビジネス環境や働き方が大きく変化しつつある中、「ウィズコロナ時代の新しい経営様式とIT活用セミナー」を開催した。

加えて、DX（デジタルトランスフォーメーション）の企業における取り組み状況と実装までの課題を探るため、「ニューノーマルにおける新たなビジネスの取り組みとDXに関する調査」を実施するとともに、DX導入のポイントや先進事例を紹介する「DX推進セミナー」を開催した。



DX推進セミナーの開催  
（令和3年3月）

### 2. 感染拡大防止と現場のニーズに即した情報提供

コロナ禍により特に経営に大きな影響を受けている飲食店を対象に、感染拡大予防を図りながら顧客開拓を進めるノウハウを学ぶ「飲食店経営者のための新型コロナ対応セミナー」を開催した。

また、医療現場におけるニーズに関連する情報提供を行うことでビジネスにつなげる「ウィズコロナにおける医療現場のニーズ説明会」を初めて実施した。

### 3. 商談機会の提供と企業間アライアンスの促進

コロナ禍にあっても商談機会の提供と企業間のアライアンスを絶やすことなく促進するため、「兵庫・神戸アライアンス商談会」や「バイヤー招聘型個別商談会」をオンラインまたはハイブリッド対応のもと開催した。

また、需要が落ち込む中、会員企業の商品・サービスの情報発信を強化することを目的に、動画サイト「神戸商工TV」を開設し、ビジネスマッチングの機会を確保した。



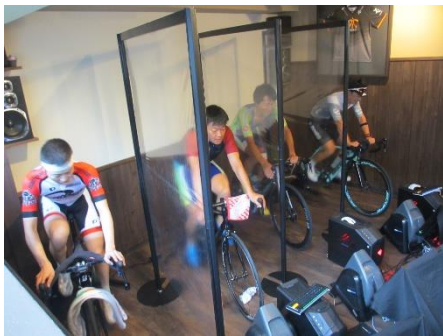


ぐるなびとのオンライン商談会の開催（6月）



「神戸商工 TV」ホームページ

#### 4. スポーツ分野におけるビジネスの創出、マイクロツーリズムの促進



有馬一六甲 Virtual Ride Race の開催（7月）

ニューノーマル時代におけるスポーツと健康経営のあり方、さらにはスポーツビジネスの可能性を探るべく、「スポーツ実施率・アクティブライフに関する実態調査」を実施した。

また、eスポーツに現実的な身体運動の要素を加えたバーチャルサイクルイベント「有馬一六甲 Virtual Ride Race」を開催するなど、イベントやセミナーを実施した。

感染症拡大により、街の賑わいを創り出すイベントが次々と中止となる中、政府の「GO TO キャンペーン」事業の情報発信を通じて、需要喚起やマイクロツーリズムの促進を進めた。また、神戸ルミナリエは代替の取り組みとして、東遊園地のライトアップやデジタルサイネージ等による過去の映像配信を行い、神戸の魅力を内外にアピールした。

感染症拡大により、街の賑わいを創り出すイベントが次々と中止となる中、政府の「GO TO キャンペーン」事業の情報発信を通じて、需要喚起やマイクロツーリズムの促進を進めた。また、神戸ルミナリエは代替の取り組みとして、東遊園地のライトアップやデジタルサイネージ等による過去の映像配信を行い、神戸の魅力を内外にアピールした。

#### 5. 海外ビジネス支援

海外渡航に大きな制限が加えられている中にも、海外ビジネスに取り組む会員事業所を支援すべく、現地ビジネス情報の提供や人材育成事業をオンラインで開催した。中でも、「ベトナム企業との個別オンラインミーティング」を開催し、現地企業との交流・商談機会を提供した。

加えて、海外展開に係る各種相談にワンストップで対応するため、地元専門家とのネットワーク構築のもと、相談体制を強化した。併せて、「海外サプライチェーン分断による影響と海外展開に関する調査」を実施し、コロナ禍における海外ビジネスの実態把握に努めた。



ベトナム企業 15社とのオンラインビジネス交流会の開催（12月）

### 【主な事業内容】

- ① ウィズコロナ時代の新しい経営様式と IT 活用セミナー（7 月/参加者 51 名）
- ② ニューノーマルにおける新たなビジネスの取り組みと DX に関する調査（令和 3 年 1 月）
- ③ DX の推進に関するセミナー（2 回/参加者 215 名）
- ④ 飲食店経営者のための新型コロナ対応セミナー（10 月/参加者 23 名）
- ⑤ ウィズコロナにおける医療現場のニーズ説明会（9 月/参加者 87 名）
- ⑥ 兵庫・神戸アライアンス商談会-Online-（参加企業 115 社）
- ⑦ バイヤー招聘型個別商談会（11 回/参加企業 167 社）
- ⑧ 動画サイト「神戸商工 TV」の開設（参加企業延べ 59 社）
- ⑨ 神戸スポーツ産業懇話会の運営（メンバー100 社・団体/セミナー4 回・参加者 250 名）
- ⑩ バーチャルサイクリングイベント「有馬-六甲 Virtual Ride Race」(7 月/参加者 113 名)
- ⑪ コロナ禍における海外人事・拠点マネジメントセミナー（8 月/参加者 29 名）
- ⑫ 中国経済オンラインセミナー（9 月/参加者 212 名）
- ⑬ ベトナム経済オンラインセミナー（11 月/参加者 53 名）
- ⑭ ベトナム企業 15 社とのオンラインビジネス交流会（12 月/参加者企業 8 社）
- ⑮ ベトナム企業との個別オンラインミーティング（12 月/参加企業 8 社/商談 19 社）
- ⑯ 新春国際経済セミナー（令和 3 年 1 月/参加者 79 名）
- ⑰ コロナ禍における海外サプライチェーン分断による影響と海外展開に関する調査（令和 3 年 3 月/回答数 394 社）
- ⑱ 表敬訪問受入など国際渉外対応（8 件）
- ⑲ 国際ビジネス取引に関する相談対応（27 件）  
貿易関係証明の発給（特定原産地証明 6,930 件/原産地証明 10,324 件/インボイス証明 972 件/サイン証明 3,702 件）

## Ⅲ. ポストコロナを見据えた地域経済の再生

### 1. 次世代産業の育成

ポストコロナを見据えた地域経済の再生に向けた新たな取り組みとして、内閣府による「世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」の公募に当商工会議所、兵庫県、神戸市、大学等で構成する「ひょうご神戸スタートアップ・エコシステムコンソーシアム（議長：家次会頭）」が大阪、京都の各コンソーシアムと連名で申請し、7月に「グローバル拠点都市」に選定された。これを機に、スタートアップ



企業と会員事業所とのマッチング促進を目的とする「KCCI Startup Pitch & Meet」を開催した。

また、次世代産業の創出と振興を目的に、スーパーコンピュータ「京」の後継機である「富岳」の着実な整備、産業利用の促進を求める「スーパーコンピュータ『富岳』の産業利用促進に関する要望」を行うとともに、医療分野における規制緩和をはじめ、ワクチンや診断・治療薬の早期開発と安定供給の実現を京阪神3商工会議所で組織する「ライフサイエンス振興懇談会」を通じ、国や関係省庁に要望した。



KCCI Startup Pitch & Meet の開催  
(令和3年2月)

## 2. 創業・事業承継・事業再生、人材育成等への対応

神戸において起業を目指す人や創業間もない事業主を対象に、集合研修やライブ配信により「KCCI 創業塾実践セミナー」を開催した。

また、事業承継が困難な中小企業者の経営資源を他の意欲ある経営者へ引き継ぐことを支援する「兵庫県事業引継ぎ支援センター」を運営するとともに、後継者や事業承継後の経営者を対象に経営の基礎知識などを提供する「後継者塾」を開催した。

事業再生への取り組みとして、「兵庫県中小企業再生支援協議会」において183件の再生計画支援策定を行った。



神戸で働こう！オンライン業界研究フェアの開催  
(令和3年2月)

加えて、各企業の将来を支える人材の確保と育成を目指し、新卒予定者向けに「神戸で働こう！オンライン業界研究フェア」等を開催した。

「KCCI ビジネススクール」では集合型に加え、オンライン形式による講座を計53回開催し、延べ993名が受講した。企業のニーズに寄り添い企画するオーダーメイド研修も5件実施した。

ビジネスの実践的な能力を評価し、認定する検定試験は、コロナ禍により6月～9月の施行が中止されたものの、10月以降年度内に16種目を施行し、延べ8,854名が受験した。

## 3. 次世代を拓く基盤整備と都市魅力の再構築

都心・三宮の再整備や神戸空港の利便性向上に向けた南北アクセスの改善、大阪湾岸道路西伸部を含めた関西高速道路ネットワークの推進など、都市インフラの早期整備に向けて地元自治体や国への要望活動を重ねたほか、各種協議会及びセミナーを通

じ意見具申を行い、事業の加速化を強く働きかけた。

神戸空港については、コロナ禍により航空需要が大きく落ち込んだことを受け、エアライン各社において減便・運休の措置がとられた。一方で宮古（下地島）線などの新規開設もあり、就航都市は12都市に拡大した。当商工会議所に事務局を置く「神戸空港利用推進協議会」では、都心と空港のアクセス強化を図るため、直通バスの利用促進等の広報宣伝事業を展開した。



神戸－宮古（下地島）就航記念イベント（10月）

なお、関西3空港懇談会において、神戸空港に関しては、令和7年頃を目途として、国際化を含む空港機能のあり方について関空・伊丹を補完する観点から引き続き検討されることとなった。

加えて、2025年大阪・関西万博の開催準備を加速させるため、各種関連会議に参画したほか、兵庫・神戸における機運醸成を目的に、常議員や県内商工会議所を対象に概要や進捗状況を説明する説明会を開催した。

#### 【主な事業内容】

- ① KCCI Startup Pitch & Meet（令和3年3月/参加者94名）
- ② ひょうご神戸スタートアップ・エコシステムコンソーシアムへの参画（議長：家次会頭）及び事業活動への協力
- ③ スーパーコンピュータ「富岳」の産業利用促進に関する要望（9月）
- ④ 関西圏におけるライフサイエンス産業振興に係る要望（12月）
- ⑤ 京阪神三商工会議所ライフサイエンス振興懇談会（令和3年2月）
- ⑥ KCCI 創業塾2020 実践セミナー（10回/受講者延べ137名）
- ⑦ 開業予定者のための創業相談対応（367件）
- ⑧ 兵庫県事業引継ぎ支援センターの運営（オンラインセミナー1回/延べ相談件数149件/成約8件）
- ⑨ 後継者塾（5回/受講者数14名/個別相談会3回）
- ⑩ コロナに打ち勝つ！採用戦略オンラインセミナー（11～12月/参加者延べ164名）
- ⑪ 神戸で働こう！オンライン業界研究フェア（令和3年2月/出展企業20社/参加学生延べ408名）
- ⑫ 兵庫県合同企業説明会&就職面接会（令和3年3月/出展企業54社/来場者171名）

- ⑬ KCCI ビジネススクール（階層別・分野別研修 53 講座/受講者数延べ 993 名/オーダーメイド研修 5 件/外部提携講座他 5 件）
- ⑭ 検定試験・認定試験（16 種目/受験者 8,854 名）
- ⑮ 第 10 回関西 3 空港懇談会（11 月/出席者 16 名）
- ⑯ 神戸空港利用推進協議会の運営（会員数 356）
- ⑰ 関西創生のための高速道路ネットワークの早期整備に関する要望（7 月、9 月）
- ⑱ ひょうご基幹道路ネットワークシンポジウムへの参加（9 月/パネリスト：森地副会頭）
- ⑲（公社）2025 年日本国際博覧会協会への参画（理事・副会長、財務委員会常任委員：家次会頭）
- ⑳ 2025 年大阪・関西万博説明会（11 月：常議員会、令和 3 年 3 月：兵庫県商工会議所連合会）

## IV. 会員参画と活動基盤の維持強化

### 1. 会員サービスの充実

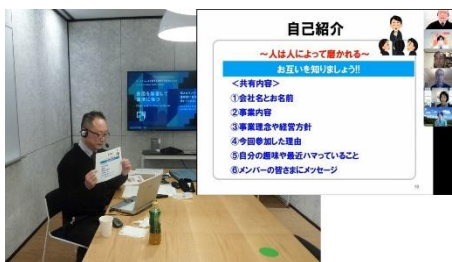
当商工会議所のスケールメリットを活かした経営者・従業員を対象とする各種共済・保険制度のサービス充実並びに加入者促進に努めたほか、大規模店舗並みの条件でクレジットカード決済を行えるクレジットカード包括代理契約事業「こうべ de カード」や高速道路料金の経費負担を軽減する ETC カード事業、健康診断、提携施設割引等の会員向けサービスの提供・展開を行った。



永年会員表彰式（令和 3 年 3 月）

また、永年にわたり会員として、当商工会議所活動並びに地域経済・社会の発展を支えていただいた事業所への永年会員表彰式を執り行った。

### 2. 11,000 会員による活動基盤の維持強化



会員ビジネス交流会の開催  
（令和 3 年 2 月）

業種・業態や規模を越えて会員相互に交流・親睦を深め、人的ネットワークの形成・拡大を図るとともに事業利用を促進することを目的に、「会員ミーティング」やオンライン形式による「会員ビジネス交流会」を開催した。

また、例年、政官財各関係者がともに新年を祝う「新年合同祝賀会」は、感染症予防策を講じた上で「新年のつどい」として開催した。

さらに、経営者相互が抱える経営課題の解決や異業種間の交流などを目的として女性会や各支部交流会の運営を行った。

なお、コロナ禍で経営環境が悪化する中、事業継続支援やポストコロナに向けた事業展開等を通じて地元企業との接点が強まり、会員数は平成 30 年度以来、2 年ぶりに 11,000 会員を超え 11,163 会員となった。

### 【主な事業内容】

#### ① 共済・保険事業

- ・生命共済制度(加入 2,606 社/11,161 名)
- ・特定退職金共済制度(加入 1,045 社/7,485 名)
- ・個人拠出制年金共済制度(加入 1,673 名)
- ・自動車共済(71 社)
- ・がん保険、国内外 PL 保険制度、休業補償プラン、フルガード 2000、業務災害補償プラン、ビジネス総合保険 他の募集推進

#### ② 各種会員サービス事業

- ・こうべ de カード事業(加盟 872 店)
- ・ETC カード事業(142 社・712 台)
- ・提携施設優待割引サービス(340 施設)
- ・中小企業 Web 研修事業(登録 173 社/23,494 アクセス)
- ・健康診断(受診者 1,719 名)
- ・福利厚生代行サービス(CLUB CCI 13 社/ベネフィット・ステーション加入 9 社)
- ・労働保険事務代行サービス(受託 378 件)
- ・宛名ラベル作成サービス(5 件)
- ・DM 配送代行サービス(71 件)

#### ③ 会員ミーティング(令和 3 年 3 月/参加者 125 名)

#### ④ 会員ビジネス交流会(12 月/参加者 7 名/オンライン開催)

#### ⑤ 女性会(月例懇談会 7 回/会員数 100 名)

#### ⑥ 企業広報研究会(会員 64 社/定例会 5 回/社内報研究会 2 回)

#### ⑦ 令和 3 年新年のつどい(令和 3 年 1 月/参加者 600 名)

#### ⑧ 支部交流会

- ・西神戸支部 長田活性化研究会(例会 6 回)
- ・西神戸支部 さん金会(例会 3 回)

【会員数】 11,163 会員(令和 3 年 3 月末現在)

